

## シンハラ語の談話における指示詞の用法に関する研究

ウィラッコディゲー, アヌシャ, マノージ, ピヤンガー, ウィラッコディー

<https://hdl.handle.net/2324/2556298>

---

出版情報：九州大学, 2019, 博士（芸術工学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（3）

氏 名 : W.A.M.P. WEERAKKODI

論 文 名 : シンハラ語の談話における指示詞の用法に関する研究

区 分 : 甲

## 論 文 内 容 の 要 約

本論はシンハラ語の指示詞の活用、用法を現代の談話題材の中で見ていく研究である。従来解明されてこなかった指示詞の意味、用法、新用法、区別などを明確に検討していくのが目的とする。シンハラ語の指示詞において M 系、O 系、E 系、A 系として四つの形態を持つのが特別であり、その各系がそれぞれの相違点を持つ。基本的に M 系は近称、O 系は中称、E 系は照応系で、A 系は遠称である。その他の指示系に違って E 系が文脈指示のみ使用可能で、本研究では詳細な視点を取り上げた。なお、現代の談話を分類する時に指示系の基本的な機能においても変化が見られる。その点に着目し、指示詞の用法、区別を検討した。

指示用法の活用、新用法、認知、呼称用法、変化などを示すために現代の映画とテレビドラマを談話題材の中で切り取ったコンテキスト 50 分類し、検討した。その分類した結果、出た様々な例文を示し、その例文の中で指示用法を見ていった。従来の研究では、方法として簡単な例文を示して、指示用法を見てきたが、深く検討がなされていない点に着目した。本論では、さらに変わった方法で例文を示し、認知なども見て行った。談話題材とその他に使用された例文は作例であり、母語話者に確認させてある。また、現代の談話の中で出てきた現場指示と文脈指示を母語話者に確認し、さらに考察を深めた。そして、データの有意を求めるため、コンテキストの中で出てきた指示系の出現頻度を使って、簡単な統計的分析を行った。

本論では、各指示体系について別々に検討されているのが確認できると思う。まず、各指示系の形態活用を示した上で、現場指示、文脈指示、そしてその中でもさらに出てきた用法を例文で示しながら考えていった。指示詞の新用法もその中に出てきていると考える。また、従来研究の対象にならなかった M 系の呼称用法、E 系の呼称用法を詳細に触れた。例えば、まず、M 系について考えると M 系の活用、現場指示、文脈指示、文脈指示の中でもさらに見られる共通認識、非関与者、そして、場面の認知などが挙げられる。M 系だけではなく、各四つの指示体系について別々に見て行き、用法とデータを統計分析表などで示した。主に用法の例文を通して説明しながら検討している。その上で、各指示系が機能した特別な点とそれぞれ体系的にどうなるのか理解できると考える。従来の研究は、ほぼ同じようなパターンでシンハラ語の指示詞について述べたが、本研究ではさらに、指示詞の細かい区別、認知、新用法などを提示している。用法や拡張用法、呼称用法などを示すために主に例文と作例を使用した。

各四つの指示体系について検討した後、現代の談話の中で見られた呼称用法が本研究の知見である。また、各指示の出現頻度を基にした統計的分析し、さらに用法を確かめた。また、当時の(1990)

年代の映画 3 つを使用し、その中で出てくる指示系の出現頻度と呼称系を確かめ、現代の談話の中で出た出現頻度と比較して見た。そして、指示詞に関して述べている活用表には本研究から提案した形態も掲示した。(例：M 系の呼称用法、E 系の呼称用法、O 系の感動詞、性別系・動物系的一部分) その際に、現代の談話題材を重要な研究材料として用いた。そして、E 系は各四つの指示系の中で特別な点があり、文脈指示のみ使用されているので、第 6 章では詳細に検討した。A 系だけではなく、E 系において非関与者、共通認識の機能が頻繁に付いてきているのがよく見られた。そして、E 系において呼称用法が現れた。普段、従来の研究で使用された簡単な例文を示す方法より、例の場面、認知を考えた上で、指示の働きを考える必要性を求めた。現代の談話題材を検討すると指示詞の区別がより詳細にできるということが分かった。

まとめでは、現代の談話において指示詞の区別を求めた。その際に、統計的な出現頻度を用いてデータを確かめた。また、従来のシンハラ語の指示研究だけでなく、日本語の指示研究も着目しながら研究を行ったため、深く指示系を示せた。現場指示・文脈指示両方をさらに区別できるような視点を考えた。それは、従来のシンハラ語の指示研究では見られない点である。そして、指示詞の新しい意味、拡張した用法、独立している用法も見られた。従って、本研究では、各 M 系・O 系・A 系・E 系に関して別々に論じ、指示系のどのような共通点、相違点があって、談話の中でどのように働くのかが分かった。本論では、その際に各指示系を相互比較して検討したところもある。